

厚労省社会保険審査会

5月16日(木)午後1時15分

厚労省社会保険審査会審査室にて

—これまでの経過—

2016年2月27日11名の元漁船員と遺族が、ビキニ海域での操業中に被ばくし、その後突然に体調を崩したり、がんなどを発病し手術したり入退院を繰り返しながら、生活されてきていました。

山下正寿さんがこの間厚労省、農水省に当時の調査資料の開示を求めてきていました。紙智子・福島みずほ両参議院議員などの協力も得て、2014年10月に開示された資料をもとに、操業中に被曝し健康被害を受けたとして、全国健康保険協会船員保険部に労災申請をしました。

しかし船員保険部は、設置された厚労省研究班丸抱えの有識者会議が当時の米軍資料を使って被ばく線量を評価した報告書をもとに、「当時の被ばくは2.20mSvで、病気との関係は確認できなかった」として、2017年12月25日、全員不支給の通知を出しました。すぐにこれを不服として関東信越厚生局に再審査を申し入れましたが、これも却下されたので、2018年9月20日に厚労省社会保険審査会に、再審査請求の手続きを取りました。

この間の労災申請に関わっていただいた静岡の聞間元医師、東京の色部裕社労士には大変お世話になっています。

—社会保険審査会での公開審理—

今回は、申請人11名は、第1部会に6人、第2部会に5人と別れて公開審理が行われます。審査室が狭くて、傍聴はマスコミ等含めて20人と制限

されています。

第1部会の公開審理が午後1時15分から、第2部会が午後3時から行われ、両方の部会で代理人として参加される聞間元医師が11人の診断書を提

出した医師の立場から総括陳述を行います。その後、申請人の代理人がそれぞれに陳述を行います。

審査の結果は、数か月後になりそうです。

高知から二人の弁護士（代理人と傍聴人）、山下正寿、下本節子、濱田郁夫、岡村啓佐氏の7人が参加します。

—5月16日・17日の行動—

5月16日10時～11時30分 **ビキニ検証会**

衆議院第2議員会館第7会議室にて
聞間元医師の総括陳述の報告をもとに、代理人6名とともに、ビキニ核被災との因果関係について学習します。

17時～18時 **記者会見**

厚労省9F 厚生労働省記者会の会見室にて

5月17日午前9時～12時

国会議員要請行動…農水省・厚労省の野党議員を中心に

午後…リニューアルした第5福竜丸展示館を訪問

太平洋核被災支援センター2019年総会

4月14日、平和資料館草の家で、総会が開かれました。新役員体制が決まりました。

共同代表 岡林登志郎 濱田郁夫

副代表 橋元陽一 岡村啓佐

役員 畑山佳代 増本和馬 下本節子

橋田早苗 中島 暁

事務局長 山下正寿

事務局次長 上岡橋平

事務局員 前田 晃 川淵誠司 浦木英雄

今城 隆

会計 土田和美

会計監査 坂下文宏

—労災再審査請求対策会議—

4月14日、総会終了後に、聞間元医師、星正治広島大学名誉教授、内藤雅義弁護士、色部裕社労士、西村寿水元参与に来高戴き、公開審理に向けた打ち合わせと学習会議をすることができました。

高知からは4人の弁護士の参加とともに、岡林・濱田共同代表はじめ、新役員が参加しました。労災申請の経過(山下・橋元)、ビキニ事件の概要と11人の申請書(間間医師)、厚労省社会保険審査会への手続きや公開審理の仕組み(色部氏)、行政訴訟を想定した取り組み(内藤氏)の報告を受けて、意見交換を行いました。

行政訴訟に踏み切ると判断した時には、高知地裁で手続きを行うことを確認しました。

ビキニ国賠訴訟 **傍聴を!**

第2回高松高裁 控訴審

6月11日(火)午後1時15分 開廷

高知城ホール午前9時半出発

第1回控訴審で、4人の証人申請をしましたが、3月28日の進行協議で、増本和馬氏の意見陳述しか認められず、間間元医師、高橋博子氏(名古屋大学講)、山下正寿氏の証人申請は、陳述書を提出するだけとなりました。法廷の場でビキニ水爆実験による核被災の真相を解明する扉を閉めたままにしようとする国側の意図が見え見えます。

当日は午前9時30分、高知城ホール出発予定です。13人乗りバスを準備して、乗り合わせて行きます。傍聴を希望される方は6月3日(月)までに、下記の者に連絡下さい。

傍聴についての連絡先(携帯番号)

山下 正寿	090-4973-2192
濱田 郁夫	080-5442-4588
岡村 啓佐	080-3167-8924
橋元 陽一	090-8694-1736

引き続き支援カンパを呼びかけていますので、ご協力をお願いします。

連絡先: 090-8694-1736 (橋元)

—県との懇談会(5月15日午後2時~)—

高知県は、ビキニ事件の被害実態調査をすすめ、調査結果をもとにしたシンポジウムを開催するために必要な予算を確定しました。2015年から2016

年にかけて室戸市、土佐清水市、高知市での健康相談会開催に続くものです。

調査やシンポジウムの内容などについて、吉良富彦県議を窓口にして、担当の健康対策部と懇談を行います。結果については後日お知らせします。

写真集『NO NUKES』英語併記版



¥2000 円

制作した岡村啓佐氏は、ビキニ事件を子どもたちや世界に知ってほしいと写真集を国内にある152ヶ国の大使館、県内公立私立のすべての中高校、マクロ船籍のある自治体の小学校に届けています。

写真集は『ビキニ核被災ノート』に続いて高知県民文化賞を受賞しました。

写真集の問い合わせ: 080-3167-8924 (

—紙芝居『ビキニの海のねがい』完成—



紙芝居は17枚で構成されています。

県下、全国、世界の子どもたちに見てもらえるように準備中です。

DVD 学習教材「核被災と核兵器禁止条約」

3・1ビキニデーから、全国的に入手希望の問い合わせが続き「完成度が高く、学習資料として使いやすい」と感想が寄せられています。」